

令和7年度「全国社会教育主事の会」交流研修会 テーマおよび日程

(1) 趣旨

全国社会教育主事が広域的な情報交流を行い、時代に即応した専門性を高めるとともに、地域を越えた絆を深め、都道府県・指定都市域内の社会教育の一層の推進を図る。

(2) 期日

令和7年5月22日(木)～23日(金) 2日間

(3) テーマ

地域コミュニティの基盤づくりを支える社会教育人材の活躍の在り方

(4) 対象

都道府県・指定都市教育委員会の社会教育主事(「全国社会教育主事の会」会員)

(5) 日程

| 月/日 | 13:00 | 13:30 | 13:50 | 14:50 | 15:00 | 15:45 | 15:55 | 16:55 | 17:10 | 18:00 |
|--------------|-------|--|--|---|--|--|--|-------|-------|-------|
| 5月22日 (木) | 受付 | 開会式・諸連絡等 | <p>【基調講義】(60分)</p> <p>社会教育人材に期待すること</p> <p>※中教審生涯学習分科会各部会等(社会教育推進体制の在り方に関するワーキンググループ、人材部会、在り方部会等)での議論を踏まえ、社会教育主事、社会教育士に期待される役割について御講義いただく。</p> <p>[講師] 文教大学 准教授 青山 鉄兵</p> | 休憩 | <p>【行政説明】(45分)</p> <p>今後の社会教育主事と社会教育士の在り方について</p> <p>※中央教育審議会生涯学習分科会社会教育の在り方に関する特別部会における議論を踏まえ社会教育人材に関する国の政策的な動向について理解を深める。</p> <p>[情報提供者] 文部科学省総合教育政策局 地域学習推進課 課長補佐 林 剛史</p> | 休憩 | <p>【交流プログラム】(60分)</p> <p>社会教育主事の職務の実際</p> <p>※自身の社会教育主事としての職務の実際について、課題や抱負等も交えながら情報共有・交流し、全国社会教育主事のネットワークを構築する。</p> <p>[ファシリテーター] 社会教育実践研究センター職員</p> | 事務連絡 | 移動 | 情報交換会 |
| 5月23日 (金) | 受付 | <p>【報告】(40分)</p> <p>「社会教育主事と社会教育士等の配置・在り方に関する調査研究」質問紙調査結果について(中間報告)</p> <p>※社会教育主事と社会教育士等の配置・在り方に関する調査研究の結果を共有し、現状を把握するとともに今後の取組の参考とする。</p> <p>[報告者] 社会教育実践研究センター 専門調査員 大下 真史</p> | 休憩 | <p>【事例研究】(70分・質疑応答を含む)</p> <p>社会教育人材ネットワーク構築の実際</p> <p>(1) 社会教育人材を対象としたフォローアップ研修の工夫 《発表25分程度》</p> <p>(2) しまね社会教育人材認証制度等の取組 《発表25分程度》</p> <p>※社会教育人材の活躍促進に資する取組を行っている自治体の事例について学ぶ。</p> <p>[事例発表者] (1) 和歌山県教育庁生涯学習局 生涯学習課社会教育主事 玉置 瞳 (2) 島根県教育庁社会教育課 社会教育主事(兼)調整監 橋津 健一</p> | 昼食・休憩 | <p>【グループ協議】(135分・休憩を含む)</p> <p>社会教育人材のスキルアップとネットワーク化に向けた課題と今後の方策について</p> <p>※交流プログラムや事例発表を受けて、社会教育人材の活躍を促進させていくために、各地域において実現できそうな取組・仕掛け・工夫等について協議を行う。</p> <p>[ファシリテーター] 社会教育実践研究センター職員</p> | 閉会式 | | | |